

利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会 令和6年度の事業活動について

—関係省庁等への要望活動を実施しました—

令和6年6月27日、関係省庁及び（独）水資源機構に対し要望活動を実施しました。水道行政の厚生労働省からの移管後初めての要望活動となり、所管省庁に要望内容を伝え、意見交換を行う良い機会となりました。

御参加いただきました皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

—第9回合同水質事故訓練を実施しました—

令和6年9月27日、合同水質事故訓練を実施しました。渡良瀬川の三国橋付近の地点において六価クロム含有廃液が不法投棄されたというシナリオに基づき、当日は3事業者による現場出動のほか、全42事業者でメールやクラウド型グループウェア等を活用した事業者間の情報共有を行い、各事業者において課題や改善点を確認いただきました。

訓練後のアンケートでは、「実際の事故対応をする機会が少ないため、本訓練は非常に有意義であった」、「現場出動に係るマニュアルや備品リストが雨天時の事故対応を想定していなかったため、見直す必要がある」などの声が上がりました。

今後も、このような大規模な水質事故を想定した訓練を継続し、改善を重ねながら、水系全体としての水質事故対応能力の向上に取り組んでいくため、引き続き御協力をお願いいたします。



要望活動の様子



埼玉県による試験車内での水質分析

—施設視察、技術研修、講演会を開催しました—

令和6年6月27日、秋ヶ瀬取水堰及び朝霞浄水管理事務所の視察を実施しました。8事業体計17名に御参加いただき、可動堰の上部での施設説明や、高度浄水処理施設の見学、質疑応答等を行いました。

参加者からは「コロナの影響で他事業体の施設を見学に行ったりする機会がない時期があったので、こういった施設視察を企画していただけると、技術職員の勉強する機会も増え有意義であると感じます」、「浄水場については、水質試験室なども見学したかった」等の意見をいただきました。

令和7年2月20日、東京都水道局本郷庁舎にて技術研修を実施し、6事業体計8名に御参加いただきました。技術研修では浄水処理に関する講義及びジャーテストや異物試験の実習を行い、参加者からは「普段から行っている水質分析方法を再確認することができ、大変有益でした」、「異物分析は初めてで不安だったが、実習形式だったことで、実践的に理解を深められたうえに楽しく取り組めた」などの意見をいただきました。

令和7年2月18日、日本水道協会 島野敏寛氏により「令和6年能登半島地震における対応について」と題して講演会を行いました。今回は対面とweb開催の併用により、13事業体の方に加え、相模川・酒匂川水質協議会の事業体の方にも聴講いただきました。

応急給水車の出動や職員の派遣など、事業体のみなさまもさまざまな支援を行っている能登半島地震での対応について、実務的な視点から貴重なお話を伺いました。



秋ヶ瀬取水堰での施設説明



技術研修での異物の観察